

<暴力に頼らない世界>を夢見て旅を続ける
坂上香監督の渾身の一作

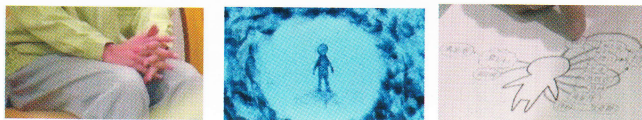
プリズン・サークル

映画上映会 & 監督トーク

入場無料

刑務所が舞台ではあるけれども、
刑務所についての映画ではありません。
犯罪者と呼ばれる人が主人公ですが、
彼らだけの話ではありません。

他者の本音に耳を傾けることで、
言葉を、感情を、人生を取り戻していく。
彼らの言葉に、じっと耳を傾けてみてください。
今まで見えなかった何かが、見えてくるはずです。

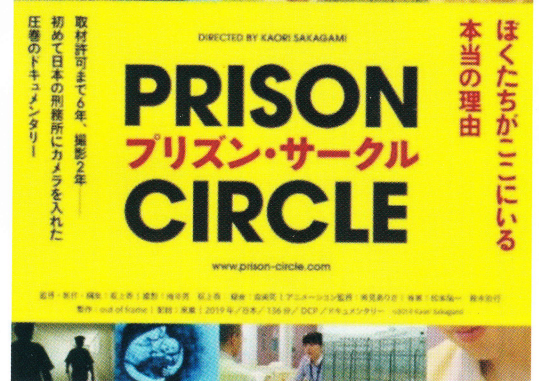


(C)2019 Kaori Sakagami

坂上香 (さかがみ かおり) 監督トーク

【暴力の連鎖をとめたい】

～プリズン・サークルにこめた想い～



日時

2021年2月28日 (日) 13:00～16:15

会場

ソリオホール

宝塚市栄町2丁目1番1号 ソリオ1・3階
(阪急・JR宝塚駅下車すぐ)

定員

150人 (予約優先・先着順)

保育

10人 (1歳～就学前まで) 無料・要予約

申込

1月4日 (月) 9:00～ 電話または窓口 センターホームページで受付

宝塚市立男女共同参画センター 0797-86-4006

※お申込みは、同時に2名様までの受付とさせていただきます。※第2日曜休館 (1/10・2/14)



申込みQRコード

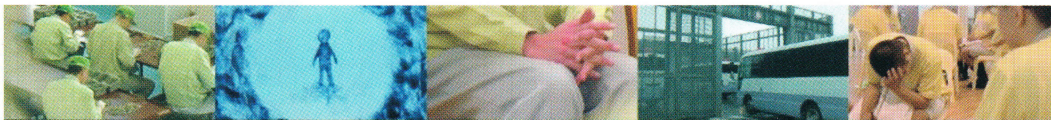
主催 宝塚市立男女共同参画センター・エル

指定管理者 NPO法人 女性と子どものエンパワメント関西

電話: 0797-86-4006 FAX: 0797-83-2424

ホームページ <https://www.takarazuka-ell.jp/>

※申込みにあたってお預かりする個人情報は本講演以外の目的で使用することはありません。



「罪」と「罰」について
多くを知らない。
過熱する犯罪報道、
厳罰化を叫ぶ声
けれど私たちは、この国の

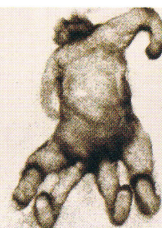
「島根あさひ社会復帰促進センター」は、官民協働の新しい刑務所。警備や職業訓練などを民間が担い、ドアの施錠や食事の搬送は自動化され、ICタグとCCTVカメラが受刑者を監視する。しかし、その真の新しさは、受刑者同士の対話をベースに犯罪の原因を探り、更生を促す「TC (Therapeutic Community = 回復共同体)」というプログラムを日本で唯一導入している点にある。なぜ自分は今ここにいるのか、いかにして償うのか？ 彼らが向き合うのは、犯した罪だけではない。幼い頃に経験した貧困、いじめ、虐待、差別などの記憶。痛み、悲しみ、恥辱や怒りといった感情。そして、それらを表現する言葉を獲得していく…。

DIRECTED BY KAORI SAKAGAMI

PRISON CIRCLE

監督は、『ライフアーズ 終身刑を超えて』『トークバック 沈黙を破る女たち』など、米国の受刑者を取材し続けてきた坂上香。日本初となる刑務所内の長期撮影には、大きな壁が立ち上がった。取材許可が降りるまでに要した時間は、実に6年。この期間中のプログラムに2年間密着したカメラは、窃盗や詐欺、強盗傷人、傷害致死などで服役する4人の若者たちが、新たな価値観や生き方を身につけていく姿を克明に描き出していく。

処罰から回復へ
今、日本の刑務所が
変わろうとしている



PRISON プリズン・サークル CIRCLE



(C)2019 Kaori Sakagami

www.prison-circle.com | @prison_circle | fb.com/prison.circle



監督プロフィール

ドキュメンタリー映画監督。NPO法人「out of frame」代表。一橋大学客員准教授。TVドキュメンタリーの世界でギャラクシー賞大賞、文化庁芸術祭テレビ部門優秀賞など数多くの賞を受賞。劇場初公開作品でアメリカの刑務所が舞台の『ライフアーズ 終身刑を超えて』(2004)でNew York International Independent Film and Video Festival海外ドキュメンタリー部門最優秀賞を受賞し、2作目の『トークバック 沈黙を破る女たち』(2013)はLondon Feminist Film Festivalのオープニングに選ばれる。「暴力の後をいかに生きるか」をテーマに「希望」や「成長」に着目した作品を作り続けている。

坂上 香 (さかがみ かおり) 監督

感染予防対策実施中



館内換気



館内消毒



お席の間隔

<ご参加にあたってのお願い>

宝塚市立男女共同参画センターでは、新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインに沿ってイベントを開催いたします。

- 当日、発熱や咳等の風症状が見られるなど、体調の悪い方はご参加頂けません。あらかじめご自宅で体温をチェックしてからご来館ください。
- 参加される方はマスクの着用、咳エチケットをお願いいたします。
- 利用時は、適宜手洗い・手指のアルコール消毒にご協力ください。

～すべての人が性別にとらわれず、自分らしくいきいきと暮らせるまちをめざして～